

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	安否確認表を活用して、本人の思いや行動パターンから外に出て行こうとする原因や理由を捉えることに努め、家族の理解の下で安全に玄関が開錠できることを期待する。	常に外に出て行こうとする目が離せない入居者の外に出て行こうとする原因や理由を捉えて、安全に玄関が開錠できるようにしていく。	身体拘束をしないケアを理解して施錠しないケアを目標に取り組んでいるが完全に開錠出来ていないので完全に開錠出来るように目が離せない入居者の徘徊の要因に目を向けて施設全体で見守り開錠が出来るようにしていく。	6ヶ月
2	23	日々のケアの中で把握した本人の思いをスタッフが更に共有しやすい記録方法を一考され介護計画に反映できるよう期待する。	傾聴の姿勢で接しながら会話の中の些細なことも聞き逃さないように把握した本人の思いをスタッフが更に共有しやすいように記録してそれを介護計画に反映できるようにする。	入居者の方の一人ひとりに寄り添い気持ちに向き合う時間を大切にしているが会話の中の些細なことも聞き逃さないようにしてスタッフが共有しやすいように記録しながら介護計画に反映していく。	6ヶ月
3	26	介護計画の目標を、個々の状態に着目した期間内で達成可能な内容に設定することで、本人と共に達成感を得られるよう期待する。	介護計画の目標を個々の状態に着目した期間内で達成可能な内容に設定して本人と共に達成感を得られるようにしていく。	本人や家族と介護スタッフで十分に話し合い課題を抽出しているが介護計画の目標を個々の状態に着目した期間内で達成可能な内容で本人と共に達成感が得られるようにする。	6ヶ月
4	43	日々の記録の中から排泄リズムを把握すると共に排泄サインを行動などから読み取り、一人ひとりに適したトイレ誘導のタイミングを図るなど、自立に向けた介助方法の検討に期待する。	自立した排泄が出来るように日々の記録から排泄リズムを把握すると共に排泄サインを行動から読み取り一人ひとりに適したトイレ誘導のタイミングを図り自立に向けた介助方法を行う。	できるだけ自立した排泄が出来るように個々の排泄記録から排泄リズムを把握する。また、排泄リズムを行動などから読み取り一人ひとりに適したトイレ誘導のタイミングを図りながら自立に向けた介助を行う。	6ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。